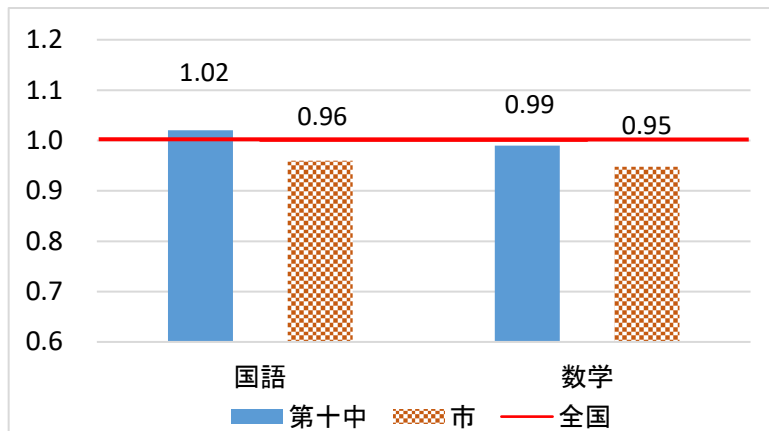


## 令和3年度 全国学力・学習状況調査について

第十中学校区 第十中学校

第3学年

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



○調査結果についての分析、今後の改善方策

### 【国語】

「読むこと」領域の「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考え方をもつ」問題では、全国平均を上回る結果であった。これは、新聞のコラム欄を視写する取組や、授業で各自の思考を言語化する場面を工夫している成果だと考えられる。一方で、「話すこと・聞くこと」領域では全国平均を下回った。今後は目的に沿って、互いの考えを伝え合ったり、活かし合ったりする話し合いや、ディベートと繋げた言語活動を各教科で取り組み、的確に聴き取り、考え、効果的に伝える力を育成していく。

### 【数学】

「関数」領域で全国平均を上回る結果であった。「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」等の記述式の問題においても全国平均を上回った。一方で「数と式」領域では「数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる」といった図形の理解と計算を組み合わせた問題について課題が見られた。今後は得た知識・理解を場面に応じて活用できる考える力を伸ばす授業づくりを進めていく。

### 【質問紙調査】

「自分には良いところがある」の肯定的な回答が70.6で全国平均（76.2）を下回った。一方で「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦する」の数値は全国平均と同じであり、心の逞しさが伺える。今後は教育活動の中で、生徒主体の取組を通し自尊感情を高めることで、自己実現の力を確かなものにしていく。

○学力向上の取組

### 【中学校区】

- ・ねやがわスタンダードをもとに、家庭教育・学習規律について共通理解を図る。
- ・小中一貫会議の各部会（国語部会、算数・数学部会、国際コミュニケーション・英語部会）で、学力テストについて、経年的に各校の取り組みの成果を検証するとともに、三校合同授業研究会の充実を図る。

### 【学校】

- ・家庭学習とレベルアップ学習（補習）の充実を図り、「わかる、できた、楽しい」場面をつくることで、子どもたちの達成感、自己肯定感（自尊感情）に繋がるようにする。
- ・教科会、授業交流、校内研修等を充実させて、さらなる教職員の授業力向上をめざす。